

10/4

## 全国障害者スポーツ大会 福井しあわせ元気大会2018 表敬訪問

10月13日(土)から15日(月)にかけて福井県で開催される「第18回全国障害者スポーツ大会 福井しあわせ元気大会2018」に、稲美町出身前川 丈一朗選手が陸上100m・200m・4×100mリレーの部で出場するにあたり、町長を表敬訪問しました。

前川選手は今年の5月26日(土)に行われた兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会にて陸上100mで金メダルを受賞され、今回の出場に繋がりました。町長などから激励の言葉をうけ『頑張ります』との強い決意を語られました。



▲大会に出場される前川選手(中央)

10/9

## 町・商工会と但陽信用金庫との 「地域創生に関する包括連携協定」を締結しました



▲(左)古谷町長 (中央)但陽信用金庫 桑田理事長 (右)稲美町商工会 廣田会長

10月9日(火)、稲美町と稲美町商工会、但陽信用金庫との三者で「地域創生に関する包括連携協定」を締結しました。

協定に基づき、地域産業の活性化、町政に係る情報発信、地域を担う人材の育成、文化・芸術やスポーツの振興、快適で暮らしやすい環境づくり、防災体制の整備および災害時における対応などさまざまな地域課題解決のため、自治体・商工団体・地域金融機関が包括連携することで、稲美町の地方創生の取り組みを推進していきます。

10/11

## 第13回LPGA(日本女子プロゴルフ協会) 全日本小学生ゴルフトーナメントで優勝!

10月6日(土)から7日(日)にかけて福島県で開催された「第13回LPGA全日本小学生ゴルフトーナメント in しらかわ」に、近畿代表として出場した天満南小学校3年生の福田 美来選手が小学1年生～3年生女子の部でみごと優勝し、町長を表敬訪問しました。

福田選手は5歳の頃からお父さんの影響でゴルフをはじめ、それから日々の練習を積み重ね、念願の全国大会で優勝という偉業を果たすことができました。

今後の目標を聞かれると『アメリカの大会で勝つことです』と力強く語られました。



▲全国大会で優勝した福田選手

8/26

## 「ラミィキューブ」 日本選手権大会で優勝!

8月26日(日)に東京で開催されたラミィキューブ日本選手権大会で、天満小学校2年生の小山那奈さんが優勝しました。「ラミィキューブ」は、1から13の数字が記載されたタイル計106枚を使い、数字と色の組み合わせを作って順番に出し、手元のタイルが一番先になくったら勝ちという2～4人制のボードゲームです。

日本選手権大会では、最年少の小山さんを含め、予選を勝ち抜いた28人が出場しました。緊張感が漂う会場で、小山さんは16ゲームを笑顔で戦い抜き優勝しました。大人たちに混じり、小さな女の子が次々と点数を稼ぐ様子に会場はどよめき、ご両親もとても驚かれたそうです。

優勝者が招待される世界選手権へは、年齢制限のため出場できませんでしたが、今後の目標は「世界大会で優勝すること」と力強く語られました。



▲日本選手権大会優勝!



▲ラミィキューブが楽しくて大好き

9/29

## アイデアプレゼンコンテストで 優秀賞を受賞

9月29日(土)に東京都で開催された「あなたの地元の魅力を広げる!アイデアプレゼンコンテスト」の決勝大会に天満南小学校6年生の6人が出場しました。

このコンテストは、全国の小学生を対象に、自分たちの地元の未来を明るく楽しくするテーマについて、パソコンで資料を作成し、プレゼンテーションの能力を競うものです。

6人のアイデアは、町の壮大な自然を生かして空と池にプロジェクションマッピングを映し出し、稲美町にたくさんの方がきてくれる観光スポットを作り上げようというものでした。

プレゼンテーション本番は緊張したそうですが、笑顔で伝えたいことを表現し、みごと優秀賞を受賞しました。



▲笑顔で受賞式にのぞむ天満南小学校の6人

10/3

## 100歳 おめでとうございます

100歳を迎えられた牛堂しげのさん(国北)を古谷町長が訪問し、ご長寿をお祝いしました。

牛堂さんはご家族が見守る中、町長がお祝い品を手渡すと笑顔で受け取られ、お元気な様子でした。

好きな食べ物はヨーグルトとバナナだという牛堂さん、多くのお孫さんもおられ、もうすぐ初めての玄孫も生まれる予定だそうです。

編物などが得意で、マフラーやセーターなどを孫にプレゼントすることを長年の楽しみとされてきました。「多くの友達と遊んだことが楽しかった」と思い返され、長寿の秘訣は「粗食でよく働いたこと」だと話してくださいました。

これからもお元気でいてください。おめでとうございます。

10月1日現在、町内の100歳以上の人は10人となりました。



▲町長から花束を受け取られた牛堂さん

10/1

## 大竹副町長・ 松尾教育長を再任

9月末で任期満了を迎えた大竹正副町長(左)、松尾哲子教育長(右)が再任され、10月1日付けで辞令が交付されました。お二人とも2期目を迎え、引き続き古谷町長のもと「人と緑のホームタウンいなみ」の実現と町政の発展に取り組まれます。

なお、大竹副町長の任期は4年間、松尾教育長は3年間となります。



▲大竹副町長へ辞令交付



▲松尾教育長へ辞令交付